

が進んでいく。一人で残されてマンションに移りたい。人口が減る流れの中にある。そこらへんも含めて将来像を考えたほうがいい。

この辺も寺や教会がある。借りに来る。使えるところはいくらでもある。センターでも借りるのに不自由したことはない。気功を和室でやっている。100%使える。会館を作るのは非常に問題だ。ふれあいの場とあるが、通学の見守りをやっているが変わってくれる人がいない。普段のふれあいの場に力を入れるべきでここが唯一の場ではない。

#### ・委員長回答

ふれあい基金の使い道が自治会館というのはベストなのかは私にはわからない。ふれあい基金を何に使うかは建設委員会が言う立場ではないが、建設委員会としては会館が地域コミュニティの形成に資すると考えている。

高齢化は進んでいるが、健康寿命を延ばせる取り組みを自治会館ですることでもできる。

杉山会館もあるが氏子が使うものがメインである。センターも杉山会館も自治会館もそれぞれの良さを生かして地域づくりができればいいと考えている。

#### ・住民(3丁目)

箱モノを作って人口 6600 人で負担が増える。ボランティアの人にも負担が増える。センターを使ったり福寿院を使ったりすればいい。ふれあい基金はオペラをやるなどに使えばいい。1500 万円の補助金は我々の市民税なので使わないほうがいい。

#### ・委員長回答

ふれあい基金の使い道について、私が言うべきことではないことをご理解してほしい。

#### ・住民(1.2丁目)

心配しているのは若手のボランティアが参加してくれるのか。PTA の役員でも集まる会議自体もやめようといっている。今は夢もあって楽しい集会と言っているが 1 年 2 年は新しいし人も集まるが 5 年 10 年とたつと、次世代が担っていかなければならない。我々 40 台の現状を考えると役員を決めるのも難しい。10 年 20 年先にボランティアを出してくれと我々に期待されてもどうしようと、ここに住んでいていいのかなと心配になる。くれぐれもそのところを盤石にしてくれれば使っていきたいなと思っている。

#### ・住民(1丁目)

必要性が先にあるとあって農事センターがあったから作るのか。農事センターが借りられるから作るうということになったのか。どっちが先だったか。

設計の段階で駐車場がないと歩いていけるのか心配である。

箱モノに使うよりも、高齢者が便利に動ける街、移動手段にふれあい基金を使った方がいい。

#### ・委員長回答

土地があるということと建設の話が前からあったという両面がある。会館建設の話が始まったのは、2000 年ぐらいからある。全額が補助金だった。2 回目は 2010 年の時で防災倉庫を改修して作ろうという話があった。2 回目は時は近隣の理解が得られなかった。

立地が悪いことに関連して (コミュニティタクシーの話)。

#### ・住民(2丁目)

子供の交通安全を第 1 に考えて車の乗り入れなどを検討してほしい。

近所に駐車場は見つからない。確保するのは難しい。車寄せのような発想であるが、地の利的に歩いていくのは難しい場所である。4 自治会でやるのに 4 丁目や 3 丁目は遠くて不便である。全自治会でやるのにバランスを欠いた事業と思っている。

私より若い方が今日はきていない。若い方に興味がない。今後の若い方が担うのにそれを押し付けるのがどうなのかなという気がする。

ボランティアは善意であり、病気にもなる。そこを前提に話を進めるのは無理があると思う。

なぜ 30 年から 50 年後ということになるのか。最初は珍しいので使うがだんだん遠のくというのが普通の間接ではないか。30 年 50 年後というのは甘い。